

玉井小だより

平成27年9月29日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

保護者の学習参加と子供の学習意欲



【5年生の家庭科の学習】

9月26日（土）は今年度から始まった土曜授業を、参観していただきました。たくさんの保護者のみなさまにお越しいただきました。ありがとうございました。なかには、保護者のみなさまが学習に参加する場面もありました。5年生は、家庭科の時間でミシンの使い方を学習しました。縫い終わるとバン

ダナができあがるのだそうで、子供たちは初めてのミシン縫いに真剣に取り組んでいました。参観されていたお母さん方も糸のかけ方を教えたり、手伝ったりしていました。

6年生も家庭科の時間でした。ご飯を炊いて「おにぎらず」（握らないおにぎり）をつくっていました。お母さんもお父さんも楽しそうに海苔にご飯をのせたり、その上にカツや卵焼きをのせたりしていました。笑顔にあふれ、とてもいい光景だなと思いました。

学校で子供の学習の様子を見ていただくだけでなく、実際に子供の学習にかかわっていただくことは、子供を理解していただくためにはとてもいいことだと思います。子供がどんなことを考えているのか、どこでつまづくのか、そしてどんな喜びや感動を味わっているのかなども分かっていただけののではないのでしょうか。

一緒に活動し、かかわる中で、その子なりの良さを認めてやってほしいと考えています。そうすれば、子供たちの学習意欲はさらに高まっていくと思います。



【6年生の家庭科の学習】

いいものにふれる経験を重ねていくこと

授業参観の日にあわせて、PTA教養保健委員会主催の県警音楽隊「学校安全コンサート」が行われました。

「となりのトトロ」「妖怪ウォッチ」など約1時間にわたり迫力のある演奏を聴かせて下さいました。演奏に合わせたカラーガードの演技もあり、とても素敵なコンサートでした。



【県警音楽隊のみさんさん】

今回のように「本当にいいもの」に直接ふれる経験を積み重ねていくことが、子供たちの心を豊かに育んでいくと思います。

菅野広美委員長さんを中心に教養保健委員会のみなさんが企画から運営まで全てやってく下さいました。素敵な機会をつくっていただき本当にありがとうございました。

やわらかな陽差し、そしてトンボとり



【芝の校庭を駆け回る子供たち】

9／28（月）3校時、芝の校庭で1年生が虫とりをしていました。校庭を駆け回りトンボやバッタをとる子供たちは、とても楽しそうです。子供たちには、その時その時に経験しておかなければならないことがあります。今でなければ身につかないものもあります。

秋の柔らかな陽の下で赤とんぼを追いかけた記憶はその子にとって一生の財産になるのだと思います。芝の校庭は間違いなく子供たちの活動の幅を広げています。